



東港金属株式会社

東京都大田区京浜島2-20-4
 電話 03-3790-1751
 URL <https://www.tokometal.co.jp/>
 (見学受付)
 電話03-3790-1751 又は 各営業担当

*東京は木枯らし1号も無いまま12月です。平成最後のクリスマス、そして平成最後の年越しです。今年後半、この「平成最後の」という言葉を何度聞いたことでしょうか。更に来年の4月までは色々な行事の接頭語にこのフレーズが続くのです。「最後!」という言葉には、なんとも言いがたい「寂しさ」と共に、過ぎ去ってしまうものを止められない「未練」、そして、走馬灯のように色々な「思い出」が頭をよぎります。昭和は64年、平成は未だ30年ですが、それでも平成元年生まれは今年30歳ですから、長寿国の日本ですが、人生の1/3は経っていることになります。昭和生まれの者には、平成生まれの方々と肩を並べての会合では、平成生まれの方の自己紹介を受けると、普段は特に意識のない時の流れの速さに驚かされるが多くなりましたが、その平成生まれの方々も来年少以降には、次第に新しい年号生まれの方々に、更に世代との意識で見えるようになるのだらうと想像できます。昭和生まれにとっては3代の元号を生きたことになりまして、更に感慨深いものとなるでしょう。

*新しい元号の年が、少しでも住み心地の良い時代になるように、今年の廃棄物処理業界の最大の課題である、廃プラスチックの処理問題が、半歩でも解決の糸口が見つかる年になるように、先ずは排出者による産廃の分別排出に努力しましょう。きっと処理費用減につながるでしょう。

*東港金属株式会社は非鉄・スクラップの買取り、産業廃棄物処理を“いつでも”お受け致します。身近なリサイクルパートナーとしてお気軽にご相談ください。



☆羅針盤

鉄・非鉄スクラップ・市況からの12月予測

営業部 Y の考察



鉄スクラップ

考察) 11月は、指標である東京製鉄宇都宮工場特級価格36,500円/トンでスタート。最終的には31,000円/トンまで下がりました。中国国内の鋼材価格の値下げ、原油価格の低下により湾岸価格が下がり、それに伴い国内の電炉・高炉メーカーが全国的に高値修正が進んだのが原因と思われる。12月に関しても、さらに下がると考えられます。



銅



考察) 11月はLME6,070ドル/トン国内銅建値720,000円/トンからスタート。最終的にはLME6,200ドル/トン、国内銅建値740,000円/トンと、多少ですが上がりました。12月に関しては、為替・米中間の関税問題等、先行きかなり不透明ですがLME在庫量の減少から考えると多少上げが予想されます。



プラスチック



考察) 廃プラスチックに関しては、相変わらず焼却場の処分費値上・受入制限が続いており、出し先に苦労している中間処理場が多い。しかも12月は通常月よりも廃棄物の発生が多い月ですから、受入制限をする中間処理場が多くなると考えられます。

11月予測の自己評価

鉄スクラップ	○	アルミ	×
銅	×	プラスチック	-

☆羅針盤

「リプルンふくしま」のご紹介

皆様は「リプルンふくしま」をご存知でしょうか。リプルンふくしまは、放射性物質に汚染されたごみの埋立処分事業の開かれた情報発信の一環として、環境省が設置した、見て、触れて、わかりやすく学べる体験型の施設で、今年の8月24日にオープンし、11月10日に来館者数5,000人を突破しました。

「リプルン」という名称は公募で選ばれ、再生・復興の想いをこめた「Re-produce(リ・プロデュース)」と「～する」の造語で「リプル」。それをより親しみやすくするため語尾に「ン」を付けて「リプルン」としたそうです。

ここでは、特定廃棄物*の埋立処分事業の概要や必要性、安全対策、進捗状況などについて「動かし」「さわり」「遊び」ながら、「知る」ことができます。施設は常設展示とモニタリングフィールドからなりますが、他にも参加型イベントなど、地元をはじめとした県内、県外から広く来館していただくための様々な企画を実施しております。

常設展示は次の5つのゾーンで構成されており、「動かし」「さわり」「遊ぶ」をコンセプトに事業の概要や必要性、安全対策、進捗状況等をデジタルコンテンツを用いた展示により、体験しながら理解することができます。

- ゾーン1) 原子力発電所の事故により大気中に放出された放射性物質を含む土壌や廃棄物などの処理及び、安全・安心への取り組みについての紹介
- ゾーン2) 除去土壌や廃棄物などの発生経緯と処理の流れの紹介
- ゾーン3) 埋立処分事業の流れと安全対策の紹介
- ゾーン4) 安全確保への取組み紹介、放射線の基礎知識等の体験
- ゾーン5) 近隣地域の復興に向けた取り組みの紹介

モニタリングフィールドでは、来場者が実際にモニタリングを体験できます。

また、空間線量率の測定、水質調査、土壌中放射能濃度の簡易測定などの体験ができる参加型イベントや、実際の処分施設の定期モニタリングを見学できるイベントも実施しております。

所在地は「福島県双葉郡富岡町大字上郡山宇太田526-7」です。近くには特定廃棄物埋立処分施設「フクシマエコテッククリーンセンター」があります。皆様も一度見学に訪れては如何でしょうか。入館は無料です。

*特定廃棄物とは、国が収集、運搬、保管および処分を行う事故由来の放射性物質に汚染された廃棄物。

参考) 環境省ホームページ
<http://shiteihaiki.env.go.jp/tokuteihaiki umetate fukushima/reprun/>



「初めての単身赴任」

生産部 町田 秀雄

初めまして、本社工場生産部の町田秀雄です。この度、羅針盤を通じて、私の遍歴の中から、一生涯取り戻す事の出来ない反省と後悔について記させていただきます。(第四回目に大どんでん返しとなります) テーマは、「初めての単身赴任」「大阪にて」「初めての海外生活(中国)」「マレーシアへの一報」の順で予定しています。

それでは初回、「初めての単身赴任」からお話ししましょう。かつて、私が一生涯骨を埋めるつもりで頑張っていた会社の関東(茨城県)工場が、銀行からの指導で閉鎖した事から、栃木県足利市の会社へ転職、36歳にして初めての単身赴任でした。転職先の会社は富士重工の下請けで、本社工場近くの工場を新たに購入しており、発電機部品とスバル車の部品を作っていました。私が入社する背景としては、当時富士重工で開発をしていたR2(車種名)の部品を、スバルの監査で合格を取得出来る品質レベルで作れる様にすることが命題でした。工場では当時の電機メーカーの部品製造をメインにしていた事もあり、命題を果たすためには、工場の外観・事務所及び工場内レイアウト・品質への考え方・生産管理仕組み等、全ての面の変更が必要でした。

工場譲渡元会社の専務以下のメンバーにも恵まれ、草むしりから始まり、油で汚染した土壌の中和作業をし、隣接の工場から高所作業車を借りて建屋の壁の洗浄するなど、全員で協力しあい、半年後には本社工場と同レベルの品質になる事も出来て、R2のクロスメンバーと言う足回り部品やナンバープレートなどを受注する内示をいただきました。そして、クロスメンバー用溶接ロボットが導入され試作を繰り返しつつ、合わせ治具や検具も現物に合わせ作り上げていったのですが、スバルのOKが出るまでの間は、それらに肉を盛ったりヤスリを掛けたりと日夜帰る事の無い日々が2ヶ月位続きやっとOKが出ました。その翌週から量産試作となりましたが、凄まじいのはこれからでした。試作で1日10個程度の実績しか無い部品を280個・350個480個と3日毎に注文数量が上がり、その注文数をクリアする為に日夜帰る事の無い日々が、再度続きました。自動車業界の垂直立ち上げが凄まじい事は聞いていましたが、予想を遥かに超えていました。かつて情報通信機器や自動制御機器メーカーの複数製品の立ち上げを経験しましたが、今振り返ると、それらとは比較にならない凄まじさだったと思います。

そんなに忙しい中、私は学童野球の監督も並行して行っていました。当時は児童が多かった事もあり、自分の息子とは別のチームでした。当時の息子は、親が言うのも何ですが、運動面では親に似て優秀でした。100メートル走では県で1位、リレーでも全国2位、野球でも優秀で中学2年で県の選抜チームに所属しサードでレギュラーを張り東北関東大会では、優勝もしました。当時ショートを守っていたのが、早稲田でキャプテンをし、後に日本ハムに入団した石井一成君です。今思えば親馬鹿はその当時から始まった様です。

転職前後での賃金の変化により、先々を見る事が出来ない状況が続いていました...その当時の悩みは、子供の先々の教育資金でした。次回へ続く。